

避難所の環境における課題をどう捉えているのか

どの季節に災害が起きたとしても、良好な環境を確保すること



ふるかわ みさか
古川 美栄
新政田原自民クラブ



カムチャツカ半島付近で起きた地震による津波警報から見えた防災対策について

問 避難所の環境における課題について、市はどのように捉えているのか。

答 避難所の環境における課題は主に4点ある。1点目は、男女別の更衣室や休養スペース、授乳室等の設置によるプライバシーの確保である。2点目は、高齢者や障害のある方、乳幼児などの要配慮者や感染症患者のためのスペースの確保である。3点目は、適切な換気や清掃、消毒などの衛生管理である。4点目は暑さ対策である。暑さ対策については、これまでも避難所への空調設備の整備を進めてきたが、さらにスピード感を持って取り組んでいく必要があると改めて認識した。どのような季節に災害が起きたとしても、避難所の良好な環境を確保することが課題だと捉えている。

問 避難所への備蓄食料の配備について、市はどのように捉えているのか。

答 大災害が発生した場合には、道路が寸断され、各避難所への配送が困難となる可能性も考えられる。備蓄品の運搬を最小限に抑え、迅速に支給するためには、各避難所への備蓄食料の配備が必要

となることから、引き続き配備を進める。

問 避難所への備蓄食料の保管場所の確保状況は。

答 昨年度から、避難所となっている小中学校と、空き教室や空きスペースの確保について協議し、条件の整った学校から配備を進めている。



持続可能な公園管理の在り方について

問 今後、遊具の老朽化が進む。その対応として、どのように効率的な維持管理を行っていく予定か。

答 これまでの定期点検結果のデータから、劣化の進行を把握して適切な予防保全を行う。

問 予防保全型の維持管理は、更新コストを削減する効果が期待できると考える。そのためにも、DXを活用した通報システムの導入について考えられないか。

答 本市では、道路損傷通報システムや漏水等通報フォームが運用されているため、これらの利点や利用状況、運用課題を踏まえ、他市の事例を参考にしながら、導入の検討をしていく。

問 人手不足で作業の回数を増やすことが難しいため、作業方法を見直していくとのことだが、具体的にどのような方法で改善を図っていくのか。

答 自走式のロボット草刈機の利用や、除草剤使用を組み合わせた作業の省力化、防草対策における新技術の導入などを検討していく。

持続可能な公園管理を進めるための考え方は

市民協働の基本理念に基づき、みんなが役割を担っていく



すずき かずもと
鈴木 和基
新政田原自民クラブ

